



8月度「スカパー! サヨナラ賞」受賞選手が決定!

セ・リーグは上本崇司選手 (広島東洋カープ)

パ・リーグは山川穂高選手 (埼玉西武ライオンズ)

スカパー! は、プロ野球を盛り上げるべく、2012年よりセントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー! サヨナラ賞」に協賛してきました。今シーズンも本賞に協賛しており、8月度受賞選手に選ばれた上本崇司選手 (広島東洋カープ) と山川穂高選手 (埼玉西武ライオンズ) の表彰式を行いました。

本賞は月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手を両リーグから1名ずつ選出し、スカパー! よりトロフィーと賞金30万円をお贈りします。

9月15日(火)、月間「スカパー! サヨナラ賞」8月度の受賞選手に、セ・リーグは上本崇司選手 (広島東洋カープ)、山川穂高選手 (埼玉西武ライオンズ) が発表されました。

発表に先立ち9月10日(木)、表彰式を各試合会場で行い、両選手へトロフィーと賞金の30万円を贈呈しました。



【8月度「スカパー! サヨナラ賞」表彰式の様子】

上記画像は <https://xfs.jp/NfQYqi> よりダウンロード頂けます。

«受賞選手コメント»

上本崇司選手 (広島東洋カープ)	山川穂高選手 (埼玉西武ライオンズ)
<p>まさか僕がサヨナラ賞を頂けるとは夢にも思っていなかったので嬉しい限りです。あの日はミスがずっと続いていたので「どうにかして取り返したい!」の一心で9回の打席に入りました。サヨナラ打は人生でも初めての経験だったので、ベンチから選手のみんながすごい笑顔で走って来てくれる光景は感激しました。一生の思い出なのでトロフィーは家に飾ります。今、チームも非常に苦しい中ですが、一生懸命応援頂いているファンの皆様、本当にありがとうございます。</p>	<p>初めての受賞なのでとても嬉しいですし、サヨナラ打でチームの勝利に直結して貢献できたのが一番嬉しいです。あの打席は満塁だったので難しい部分もあったのですが、「前に飛ばす」「とにかく決める」ということを意識して臨みました。レフトが杉谷さんだったので「絶対取るな!」と思いながら走っていました。本当に最後まで見ていないと「サヨナラ」は見れないと思いますし、いつも最後まで応援して下さるファンの皆様には感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。</p>

≪受賞プレー概要≫

セントラル・リーグ 上本崇司選手（広島東洋カープ） 初受賞

上本選手は、8月28日（金）マツダスタジアムで行われた対阪神タイガース12回戦、同点で迎えた9回裏1死1、2塁の場面でセンター越えのサヨナラタイムリーを放ち、チームを劇的な勝利へ導いた。

広島・森下投手、阪神・西勇輝投手が先発したこの試合は8回が終わり3対2と広島がリード。何とか逃げ切りたい広島は守護神フランスア投手に9回を託した。しかし、連続安打を浴びて1死1、3塁のピンチを招くと、阪神・梅野選手のセカンドゴロの間に同点に追いつかれる。続く9回裏、阪神は勝ちパターンを担う岩崎投手をマウンドに送り延長戦突入を図るが、広島は松山選手、坂倉選手の安打により1死1、2塁のチャンスを作る。打席は今季7度目のスタメンとなる上本選手。勢いそのままに3球目のチェンジアップを振り抜くと打球はセンターを越え、新人時代の2013年以来7年ぶりとなるタイムリーで試合を決めた。

サヨナラ打はプロ初。チームにおける同賞受賞は、2018年8月度の鈴木誠也選手以来。

パシフィック・リーグ 山川穂高選手（埼玉西武ライオンズ） 初受賞

8月27日（木）メットライフドームで行われた対北海道日本ハムファイターズ12回戦、8回に逆転を許し、6対7と1点ビハインドで迎えた9回裏1死満塁の場面で山川選手が左翼線へ逆転サヨナラ2点タイムリーを放ち、8対7のルーズベルトゲームを制した。

埼玉西武は序盤に4点を先行されるなど苦しい試合展開であったが、4回に山川選手の2点本塁打で反攻の口火を切ると、5回には栗山選手のタイムリーで逆転。しかし、リードして迎えた8回にリリーフ、ギャレット投手が3点を奪われ逆転を許す苦しい展開となった。1点差の6対7で迎えた9回裏、1死2塁から連続四球で満塁とすると、この試合4回に2点本塁打を放っている4番山川選手が打席に入る。カウント2-2からの5球目を振りぬくと、打球は前進守備をしていた左翼手の横を抜ける逆転2点サヨナラタイムリーとなった。終わってみれば両軍合わせて23安打の乱打戦、頼れる4番の一振りはチームを救う大きな一打となった。

スカパー！サヨナラ賞は初受賞となる。

≪スカパー！プロ野球PRアンバサダー倉持明日香さんコメント≫

【上本崇司選手（広島東洋カープ）の受賞に対するコメント】

追いつかれた後の9回裏、いつものようにバットを短く持ち、前進守備のセンターの頭上を超えるサヨナラヒット！“チームのために！”という気持ちで打った、プロ8年目で初のサヨナラ打がセカンドの守備についていた兄 博紀選手との対戦だったというも運命的でした。先輩後輩のみならず、カープファンからもいじられ可愛がられている上本選手。8年間決して諦めず、チームのために日々努力してきた上本選手の涙に心打たれた試合でした。

【山川穂高選手（埼玉西武ライオンズ）の受賞に対するコメント】

シーソーゲームとなったこの日の試合でしたが9回裏、連敗を止めたのは満塁に強い山川選手の一振り！ライオンズ4番の意地を感じた力強い一打でした。そして試合後、仲良しの森友哉選手の背中をぼんっと叩き涙が溢れ出た森選手の姿をみて後半戦、まだまだ若獅子は強くなると確信したワンシーンも印象的でした。

■月間「スカパー！サヨナラ賞」とは（公式サイト：<https://baseball.skyperfectv.co.jp/sayonara/>）

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」（※トップ&リレー、録画放送を含む）を掲げています。「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。

リリース情報は、スカパー！公式サイトにも掲載されております。<https://www.skyperfectv.co.jp/>